



明野歴史民俗資料館では、第13回企画展「人生儀礼～誕生・結婚・葬送～」を9月30日まで開催しています。ぜひ、お越しください。  
※土日祝祭日は休館となります。ご注意ください。（内海）

## 人生儀礼～誕生・結婚・葬送～

「誕生」についてお話しした52号に引き続き、今回は「結婚」についてお話しします。

世話好きの「ネコギ」と呼ばれる人が、結婚の話を持ってきました。縁談をまとめるのは容易なことではなく、「ネコギは足袋を八足切らす」と言われたそうです。縁談が決まると、媒酌人ばいしやくにんを務める「ゴチュウニン」と呼ばれる人が、祝儀樽しゆぎだん2つを持って嫁宅に「サケイレ」を訪れ、祝言の日取りを決めました。

嫁入り道具は、一週間前から前日までに婿宅に運ばれ、居間など、目につきやすい場所に飾って来客に見てもらいました。戦前の花嫁の多くは、白無垢ではなく、黒の無地が裾模様のある着物を着て、島田に結った髪つのかくに角隠しわたりぼしもしくは綿帽子わたぼうしをつけました。

祝言当日には、まず嫁宅で「オタチブルマイ」と呼ばれる祝宴が開かれ、婿方からはゴチュウニンが出席しました。オタチブルマイが終わると、花嫁は、「ゲンゾウニン」と呼ばれる近親者とともに実家を出ました。実家から出る時は、縁側から出ます。「敷居を二度とまたぐな」という意味で、花嫁が出た後、部屋を掃き出すこともありました。

嫁入りは元々夜に行われていたため、嫁入り一行は提灯ちとうちんを持って婿宅に入り、花婿側も提灯を持って出迎えました。花嫁は勝手口などから家に入り、土間に埋め込まれている藁叩き石わらたたをまたぐなどしました。これには、「石のように一生その家にいる」、「お勝手の者になる」などの意味があります。

祝言の始めにはゴチュウニンによって双方の紹介などがされ、その後、夫婦盃・親子盃・兄弟盃など、新しく関係を結ぶ間で盃を交わす「盃事さかづきごと」が行われます。盃事が終わると、「オショーバン」と呼ばれる人が司会をする祝宴となりました。祝宴の最後には、花嫁が実家から持参したお茶を淹れます。このお茶を「イケッチャ」と呼び、「行け」という終焉しゆうえんの合図だとされます。

祝言の翌日には、花嫁と花婿で餅を搗きます。その後、花嫁は近隣への挨拶回り「ムラアルキ」をします。近隣の家だけでなく、氏神や寺にも詣でました。その翌日には、花嫁の実家に、花嫁と花婿がゴチュウニンとともに里帰りをしました。祝言から3日目ということで、これを「ミツメ」と呼びます。



サケイレ (須玉町史) 所収



生家を出る (中山梅三撮影 山梨日日新聞社蔵)



提灯を持って出迎え (中山梅三撮影 山梨日日新聞社蔵)



村の神社におまいりする花嫁さん (内田宏撮影 NPO法人地域資料デジタル化研究会蔵)

第13回企画展「人生儀礼～誕生・結婚・葬送～」は、9月30日までの開催です。どうぞお見逃しなく！

# かやぶんミニ★ニュース

## 八代家イベント「八代家で夕涼み」開催

昨年度に引き続き、今年度もかやぶんでは、八代家住宅にて活用イベントを行います。その第1弾イベント「八代家で夕涼み」が8月29日(土)に開催されました。

第1部は、「明野の古老に聞く『私が子どもだった頃 ～夏編～』」。昨年度好評だったおはなし会。今回は夏の暮らしについてお話していただきました。

今と同じく子ども達には夏休みがありました、家にいる子どもは田畑での大切な働き手でもありました。親の手伝いを一生懸命して、早く終わった場合は、塩川で泳ぐなど遊びに行ったそうです。その他にも、昔の夏の暮らしについて、たくさんお話をうかがいました。



昔のお話



蚊帳

第2部は、親子を対象とした「薪のお風呂体験」。木でできたお風呂を薪で沸かし、実際に子ども達に入ってもらいました。薪で焚いたお風呂のお湯はやわらかく、木の良い香りもして、子ども達はなかなか出たがりませんでした。

お風呂でさっぱりした後は、八代家住宅の土間でスイカ割り。そして最後に、母屋の座敷に吊るした蚊帳の中で、こわ〜い話を聞きました。子ども達は「怖くないよ!」と言っていたのですが、後でお母さんに聞いたところ、その夜は一人でお手洗いにいけなかったそうですよ。

次回の八代家活用イベントは10月3日(土)、「八代家でお月見」です。ぜひおこしてください。



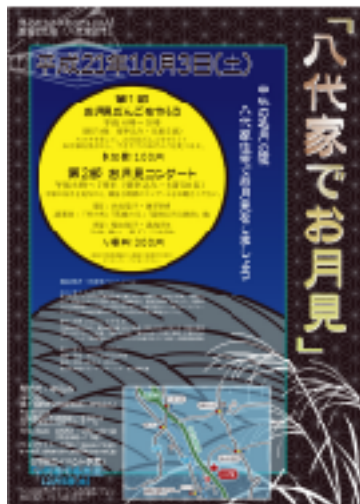
お風呂



スイカ割り



こわ〜いお話



「八代家でお月見」

見るだけじゃもったいない!  
重要文化財「八代家住宅」



# 「八代家でお月見」

～中秋の名月の夜、八代住宅でお月見をしましょう～  
平成21年10月3日(土)

場所：八代家住宅

内容：第1部 お月見団子を作ろう

午後4時～午後5時

(親子対象 要申込み・先着15組)

参加費：100円

第2部 お月見コンサート

～篠笛と朗読～ 午後6時～午後7時半

(要申込み・先着50人)

出演 篠笛：井出聖子・兼平和明

朗読：柴山裕子・湯浅尚弥

入場料：300円

※前回のかわら版でのお知らせから、篠笛の演奏者が変更になりました。ご了承下さい。

お問合せ・お申込みは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。  
TEL/FAX：0551-25-2019

## ＝ご寄付＝

篠原幸子様 5,000円 原明美様 8,000円  
村田博様 10,000円

以上の方々にご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

## ＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動してくださる方、ご賛同いただける方を募集しています。

## こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金：1000円 年会費：1000円

## ＝編集後記＝

今年の八代家活用イベントでは、八代家住宅でそれぞれの季節を楽しむ体験が盛りだくさんです! 第1回目「八代家で夕涼み」、昔の暮らしの夏を楽しんでいただけたでしょうか。次のイベント、「八代家でお月見」ではぜひ、八代家での秋をお楽しみ下さい。サポータースタッフもまだまだ募集していますので、どうぞご連絡ください。イベントを一緒に作り上げていきましょう。れきみん企画展へのご来館もお待ちしております。

## かやぶんかわら版 第53号

平成21年8月31日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310  
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>

E-mailアドレス [info@kaya-net.jp](mailto:info@kaya-net.jp)